

東京大学の2拠点と連携協力体制を構築

- 最先端の科学・技術イノベーションの獲得に向けた初期段階からの協働アプローチ -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、国立大学法人東京大学(本部:東京、総長 五神 真、以下「東京大学」)内の、東京大学ライフサイエンス連携研究教育拠点、および東京大学センター・オブ・イノベーション「自分で守る健康社会拠点」(以下「東大 COI」)のそれぞれと、革新的な新薬や医療ソリューションの創出を目指して連携協力して行う取り組み(Astellas Alliance Acceleration Program; AAAP)に関する協定を締結しました。

本協定に基づき、アステラス製薬は、東京大学ライフサイエンス連携研究教育拠点および東大 COI に所属する研究者からの研究プロジェクト提案を幅広く募集します。募集対象は、疾患の背景にある生物学的メカニズムに関する初期調査から、創薬標的の特定、新しい治療薬の創製とその検証に至る、さまざまな段階における研究開発の提案です。アステラス製薬は、研究プロジェクトの協働に向け、提案された内容について東京大学の各研究者と議論や協議を行います。

アステラス製薬は、AAAP によって東京大学ライフサイエンス連携研究教育拠点および東大 COI の研究に初期段階からアクセスし、研究プロジェクトの協働を通じて最先端の科学・技術のイノベーションを早期に取り込むことが可能となります。

アステラス製薬の研究本部長である岩井晃彦は、「このたび、東京大学ライフサイエンス連携研究教育拠点および東大 COI との密接な連携協力体制が構築されたことを嬉しく思います。この連携によって、最先端の科学・技術のイノベーションの獲得に向けてより早期からアプローチできるようになり、研究初期から臨床までの幅広い創薬研究への取り組みが加速することを期待しています」と述べています。

アステラス製薬は、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」という経営理念のもと、科学の進歩を患者さんの価値に変えるための革新的な医療ソリューション創出に取り組んでいます。これらの実現には、国内外の大学、研究機関およびバイオベンチャーなどとの提携やパートナーシップが重要であると考え、様々な社外の優れたケイパビリティ

イを積極的に取り入れる提携機会を探索しています。今回の東京大学の2拠点との連携協力体制の構築もその一環です。

以上

東京大学ライフサイエンス連携研究教育拠点について

既存の組織の枠を越えた学の融合による新たな学問分野の創造を促進するため、時間展開する生命システムの原理解明を目指すバイオエボリューション研究の世界的な教育研究拠点構築を目的に大学部局相当の学内組織として構築され、次の3つの柱に沿って研究事業を展開しています。(1)バイオエボリューションの原理解明—生命システムの時間発展の基盤原理を解明、(2)新技術によるバイオエボリューション解析—新しい動的システム解析技術による研究推進、(3)バイオエボリューションの破綻・疾患究明—新しい疾患概念の創出と予防治療法開発に基づく社会貢献。これらの研究を通じ、動的システムである生命原理とその破綻の解明を目指す世界的研究拠点を形成しつつ、高度な知のプロフェッショナル人材を育成しています。

東京大学センター オブ イノベーション「自分で守る健康社会拠点」について

東京大学センター オブ イノベーション(東大 COI)は、文部科学省および国立研究開発法人科学技術振興機構が主導する産学連携プログラムです。「自分の健康は自分で守る、高齢者も社会を支える、新健康医療産業創出により国民総所得を増大する」という「自分で守る健康社会」実現のために、自治体・企業と連携して「健康維持の自分ごと化」を推進する社会を目指しています。東大 COI「自分で守る健康社会拠点」の詳細については、(<http://coi.t.u-tokyo.ac.jp/>)をご覧ください。

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界70カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+[®])の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

コーポレート・アドボカシー&リレーション部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473